

志賀原子力発電所 1号機 原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて

平成15年11月12日
北陸電力株式会社

平成15年11月12日午前11時40分頃、原子炉格納容器内の原子炉冷却材再循環ポンプ（A）入口配管ドレン弁付近に水がこぼれているのを発見しました。こぼれた量は、約4.8リットル、放射エネルギーは約310万ベクレル（このうち、養生シート外にこぼれた量は、約1.8リットル、放射エネルギーは約120万ベクレル）でした。

外部への放射能の影響はありません。

原因は、原子炉冷却材再循環ポンプ点検のためにポンプ軸を吊り上げた際、ポンプケーシングとポンプ羽根車との間隙の溜まり水がドレン配管内に流れ込み、点検中のドレン弁ボンネット部*1から漏れたものと考えられます。今後、ポンプ軸の吊り上げ作業とドレン弁の点検は並行作業を行わないよう作業管理の徹底を図ります。

本事象は法令および安全協定に基づく報告対象に該当しませんが、石川県、志賀町及び富来町と締結している連絡基準に従い、当該自治体へ連絡しています。

以 上

* 1 弁本体の上蓋部分

原子炉冷却材再循環配管ドレン弁からの水漏れ概要図

添付

